

No.706 September 2015

ASAHI MACHI

Public Relations
⑨ 広報 あさひまち



ウサビ、一日救急隊長
やさしく見守る地域の安全

2015

9

No.706



りんごの町ならではの新しいお土産を！

朝日町産りんご（ふじ）のスパークリングワイン

「朝日町シードル むたい 無袋ふじ」

10月1日
発売

10月1日、りんごを使ったスパークリング（炭酸入り）ワイン「朝日町シードル 無袋ふじ」がデビューします。

日本で最初に袋をかけない（無袋）りんごの栽培技術を確認させた朝日町。市場関係者の間では一大産地として広く知られているものの、これまでは加工品があまりありませんでした。

商品はりんごの町ならではの新しいお土産を作ろうと町と朝日町ワインが共同で企画し、原料には町のりんごの代名詞とも言える「無袋ふじ」を使用。甘いりんごの香りとさわやかな酸味が特徴で、アルコール度数は7.0度と、一般的なワインに比べてやや低めです。

1本750ミリリットル入りで、価格は1,620円（税込）。道の駅あさひまち「りんごの森」のオープンに合わせ、10月1日に発売します。お求めはりんごの森のほか、ワイン城、町内酒販店でどうぞ。

▶問合せ先（有）朝日町ワイン ☎68-2611

シードル (Cidre) というのは、りんごを使った醸造酒のこと。フランス、スペイン、イギリスなどのヨーロッパのほか、アメリカにもあり、世界中で愛されている

目次 ◎ CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
「朝日町シードル 無袋ふじ」 10月1日発売
- P4 特集
応援に感謝！寄付額大幅増加！ふるさと納税
- P10 町政スポット
・日本の次世代リーダー養成塾 町長報告会
・災害時の燃料供給に関する協定を締結
・高齢者叙勲 渡辺治雄氏、白田太郎氏に旭日単光章
- P12 町職員の人事と給与
- P14 大谷風神祭
- P16 まちレポ
・ワイン仕込み作業安全祈願祭
・第54回寒河江西村山地区少年の主張大会
・桃色ウサヒの1日救急隊長 ほか
- P18 阿部愛美さんが定時制高校卓球で全国制覇 ほか
- P19 それいけ！ウサヒと協力隊、町立図書館コーナー
- P20 健康あさひるばんざい、Boost up Tourism!!
- P21 あさひまちファンを全国につくっていこう！
- P22 高校生が発案 あつぷるニュー豚合作料理、朝日町文化財探訪
- P23 戸籍のまど、となりのリンゴさん、珍百景 子宝なすび
- P24 あさひまちミートマラソン

表紙の写真



救急の日の9月9日、西村山広域行政事務組合の消防署朝日分署で桃色ウサヒが1日救急隊長を務めました。

一昨年、昨年に続き3回目。消防本部（寒河江市）の荒木消防長から委嘱状を受けたウサヒは、普段とは違った緊張感のある雰囲気戸惑いながらも、持ち前のシュールな動きで啓発活動に励んでいました。（17ページに関連記事）

町長歳時記 （112）

「学び続ける」ということ

「学び」は絶えず新しい発見を私たちに届けてくれます。そしてその新しい発見は、私たちを成長させ、さらにより良い人生へと導いてくれます。「学び」には「学びつくした」という終わりはないと思います。「学ぶ」こと、そして絶えず「学び続ける」ということを、私たちは大事にしていかなければなりません。

「ブランド大学のことを知ったとき、面白いことが始まるとうれしく思いました」町内でりんご農家を経営している若手女性生産者の方がこんな話をしてくださいました。この言葉から、期待感と、探し求めていたものに会った喜びが伝わってきました。さらに「経営の発展につながる何かを学びたいと思い参加しました」と話しています。人は何かを強く求めていると、ほんの小さな情報にも反応しキャッチすることができ、前向きに積極的に取り組むことができるのだと、つくづく実感したところでありました。

「伸びる人は、素直で物事をいい方向に受け止める心を持っています」元京セラ会長稲盛和夫氏は言っています。

また、松下幸之助氏もこのように言っています。「素直な心とは、言いかえれば、とらわれない心である。自分の利害とか感情、知識や先入観などにとらわれずに、物事をありのままに見ようとする心である」

素直な心の人、謙虚で人の言うことも聞き入れ、そこから学び、さらに上を目指そうとする向上心を持ち、どこまでも成長し続けます。一方、「素直さ」に欠ける人は、人の言うことを聴こうとせず、井の中の蛙となり、かたくなな心のままで、成長が止まってしまいます。人は往々にして、仕事に慣れてきたり、成功体験が多くなると、謙虚な気持ちや素直さが欠けてくるものです。

「昨日より今日、今日より明日」と、絶えず向上心を持って真摯に学び続け、前向きに行動していく。そんな素直な心を持ち続けたいと思います。

朝日町長 鈴木浩孝



「寄付額過去最高のペース」「前年同期比20倍」…。
 昨今、新聞や雑誌でふるさと納税に関するこんな記事をよく目にします。
 財源確保のほか、寄付者への返礼品として地域の特産品を進呈することで、地域産業の活性化にもつながる本制度。当町にも全国からたくさんの方の善意が寄せられ、町の知名度向上や特産品のPRにつながっています。

ふるさと納税とは？

地域間格差や過疎などによる税収減少に悩む自治体に対し、格差をなくしていくことを目的として、平成20年に始まった制度です。呼び名こそ「納税」ですが、実際は自治体への寄付。また「ふるさと」とありますが、寄付先は出身自治体に限りません。「第二のふるさと」といった考えで、自由を選ぶことができます。ほとんどの自治体は、寄付のお礼

として地域の特産品などを贈っています。当町でもバラエティーに富んだ返礼品を取りそろえ、寄付をいただいた方々にお届けしています。

寄付者には住民税や所得税が軽減されるというメリットも。2000円以上の寄付で、寄付額の2000円を超える部分が住民税などから控除されます。返礼品と税の軽減という二つのメリットが追い風となり、ふるさと納税はいま活況を呈しています。

町のふるさと納税に関する要綱を定めた条例の名称は「朝日町日本一りんごのふるさとづくり基金」。寄付していただいた方の多くはりんご産業の振興発展を願い、この分野への寄付金充当を希望しています（8頁に詳細記事）

朝日町のふるさと納税制度

制度開始に合わせ、町は関係条例を制定。22年8月以降は1万円以上の寄付者へりんごやワインなど3000円相当の返礼品を進呈しています。

しかし、他市町村と比べると、朝日町への寄付は多いわけではありません。26年度の寄付金額（351万円）は県内35市町村で少ない方から5番目です。県内で最も寄付が多かったのは天童市で、その額は約7億8000万円（全国7位）。そのほか9市町村が1億円を上回っています。

2000万円を超える寄付

財源確保のほか、知名度向上や特産品のPRにもつながるふるさと納税。町は今年度、これをさらに推進するため、注力しています。

6月1日から日本最大のふるさと納税専門インターネットサイト「ふるさとチョイス」に登録。クレジット納付の受付も始め、寄付者の利便性を高めています。あわせて、サクラamboを新規投入したり、ワインの本数を1本から2本にするなど、返礼品の品目や量を見直しています。

こうした結果、今年度は前年度を大きく上回る2000万円以上の寄付がすでに寄せられています【グラフ】。

ふるさと納税はこんなにお得です

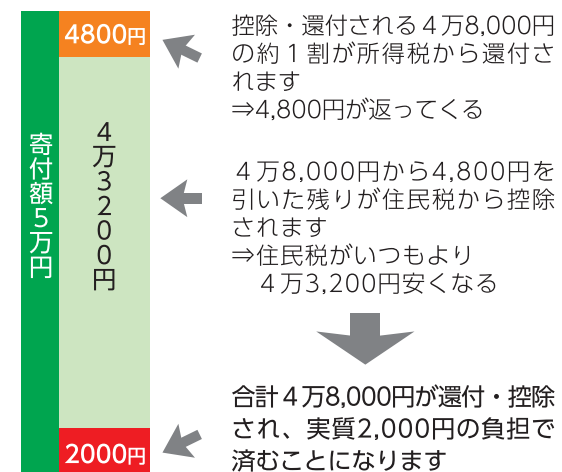
ふるさと寄付者には所得税や住民税が軽減されるメリットもあります。

2,000円を超える寄付をしたときに、住民税のおよそ1割程度が所得税と住民税から還付・控除されます。この還付・控除のメリットを最大限に受けるためには、年収によって変わる上限額を把握する必要があります。

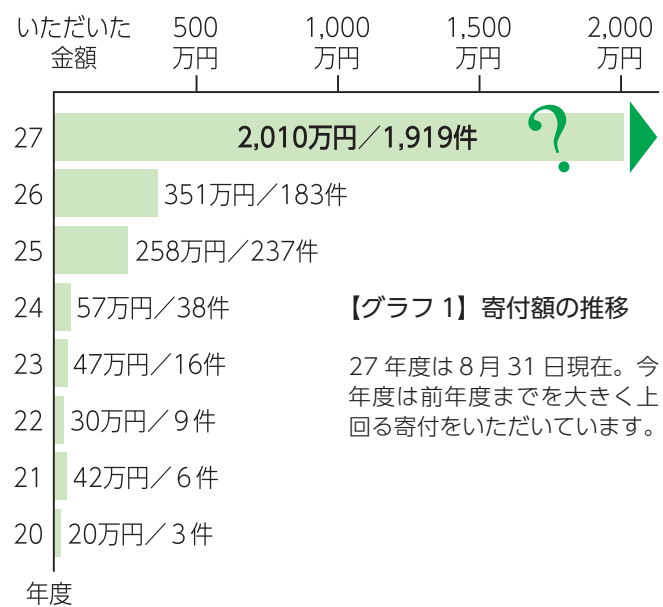
おおそ年収500万円の人であれば4万円～6万円程度が目安です。

例えば、5万円を寄付した場合、4万8,000円分が所得税と住民税から還付・控除され、実質2,000円の負担で様々な特産品を受け取れます。

例えば、年収500万円の人が5万円を寄付した場合



※ケースにより異なりますのでご相談ください。



応援に感謝！ 寄付額大幅増加！ ふるさと納税

「朝日町日本一りんごのふるさとづくり基金」

朝日町のふるさと納税、
ご親類やご友人に
ぜひおすすめください

政策推進課
主事 村山 彩

【問合せ・申込み先】
 政策推進課 地域情報係
 ☎ 0237-67-2112
 ✉ furusato@town.asahi.yamagata.jp



朝日町産ふじりんご
5kg (秀クラス)



朝日町産ふじりんご
特秀クラス 6 個 専用化粧箱詰



堀さん家のとろろ〜りトマトジュース
1 リットル入× 1 本 (堀農園)



榎平の棚田米
つや姫・天日干し (5kg)



厳選米あさひ清流美人 (はえぬき)
10kg (5kg × 2 袋)



ママ・ビーンズ おすすめ品詰合せ
(フルーツジャム 4 品とドライフルーツ等)



【日本ワインコンクール 2015 銅賞】
朝日町ワイン (辛口) 2 本セット
※ 2 本ともコンクール銅賞受賞



【日本ワインコンクール 2015 銅賞】
朝日町ワイン (甘口) 2 本セット
※ コンクール銅賞はナイアガラ(右)のみ



朝日町健康工房 ロイフェン
ハム・ソーセージ詰合せ



鈴木酒造 地酒「豊龍」
1 升× 1 本



森のだんらん 食材セット
(※旬の食材の詰め合わせ)



桃色ウサビ めいぐるみ (約 40cm)
※ふるさと納税特製缶バッジ付

当町の返礼品はりんごが一番人気

当町では現在、寄付金額 1 万円につき上の 12 品目の中から返礼品として 1 品を選んでいただいています。これ以外にも 6 月にはサクランボを数量限定で投入。1 キロ詰 800 パック分は 5 日でなくなりしました。

しかし、一番人気はりんご【グラフ 2】。サクランボほど短期集中ではないものの、8 月末日現在で、すでに 900 件以上の申し込みが寄せられています (秀クラス 5 キロ詰と特秀クラス 6 個の合計)。

もう一つの特産品のワインについては、今年 8 月中旬に本数を 1 本から 2 本に変更しています。以来、半月で 100 件以上の申し込みがあり、今後さらなる伸びが期待されます。

「選ぶ楽しさ」を高め、財源を確保

寄付いただいた方に返礼品を進呈することは、地域の特産品の PR や町の知名度向上のほか、地域経済の活性化にもつながります。

9 月 15 日時点で受け付けている返礼品は上の 12 品目ですが、今後はその数を増やしていく予定です。選択肢を広げること、寄付者に「選ぶ楽しさ」を感じていただき、さらなる財源確保につなげていきたい考えです。

山形県はふるさと納税活況県

ふるさと納税に関しては、今やほとんどの自治体が何らかの返礼品を用意し、それは人々が寄付先を決める要因の一つとなっています。

山形県は他県に比べて返礼品に力を入れる市町村が多く、すでに全市町村が返礼品を用意済みです。特に農産物が充実していて、「ふるさと納税活況県」として注目を集めています。

「ふるさとチョイス」のホームページでは、各市町村ごとのページ閲覧者数を公表していますが、それによると、先月 1 カ月間、閲覧者が多かった全国の市町村トップテンに山形県から 3 市町村がランクインしています (2 位：天童市、5 位：米沢市、8 位：上山市)。こうした事実からも山形県に対する注目の高さがわかります。

町を PR する 返礼品の数々



朝日町サクランボ組合
渡辺 良明 組合長 (大谷二)

「活況ぶりに驚き。多くの数量を確保し、町に貢献したい」

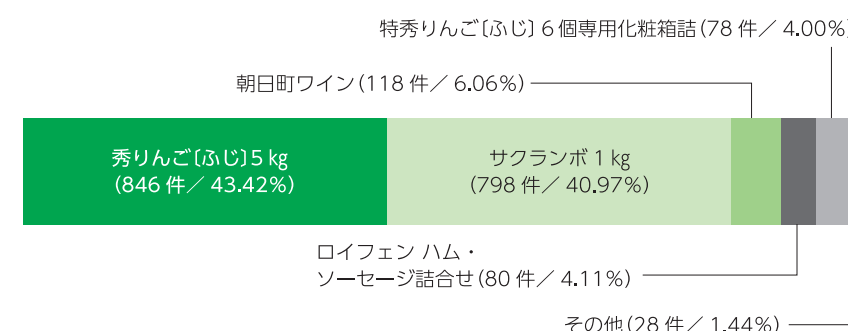
数日で 800 パック分の寄付が集まったと聞き、びっくりしました。天童市の活況ぶりは聞いていましたが、あらためてふるさと納税の人気とサクランボに対する関心の高さに驚いています。

当組合の収穫量は約 20 トン弱ほど。今回は 800 キロを利用いただきましたので大きな割合です。まとまった数量を注文いただくのはありがたいことで、ほかの生産者からも、取り組みに対する感謝の声が聞かれました。来年はもっと多くの数量を確保し、財源確保や PR に貢献したいと思います。



6 月、数量限定で返礼品に投入したサクランボ。数日で 800 パック分の寄付が届いた

【グラフ 2】平成 27 年度の返礼品の申し込み受付件数 (8 月 31 日現在)



「私も応援します」～寄付者からのメッセージ～

▶朝日町のりんごは日本一。青森に知名度は負けても味は勝ってます！PRがんばって！（山形県、男性）

▶毎日食べていたいぐらいりんごに目がありません。とても美味しそうなプレミアムりんごを見つけてすぐ申し込みました。楽しみです。（茨城県、女性）

▶父母の故郷、いつまでも美しく豊かでありますように。（東京都、男性）

▶以前いただいたき物で食してからファンです。関西ではあまりお目にかかることがないので、ふるさと納税で応援いたします。（大阪府、女性）

▶昨年まで山形に住んでいました。朝日町のりんごの美味しさには感動しました。これからもその感動を世界に発信してください。（栃木県、男性）

▶大変素敵なおところだと思います。私は都会住まいですが、野菜や果物など日本の食は、地方で頑張っている農家の皆様のおかげで成り立っています。微力ながら応援いたします。（神奈川県、男性）

▶仙台出身の私は和合のりんごが大好きで、毎年家族に送ってもらいます。初めてふるさと納税をするのですが、真っ先に「和合のりんご」が思い浮かびました。自然が相手で苦労もあるかと思いますが、これからも美味しいりんごを楽しみにしてます。（宮城県、女性）

▶棚田の維持は大変でしょうが、これからも続けられるよう期待しています。（山形県、男性）

▶学生時代朝日連峰に登り、とても良い思い出になりました。お役に立てれば幸いです。（福岡県、男性）

▶天候不順の昨今ですが、美味しいりんごありがとうございます。僅かですが「日本一りんごの里づくり事業」を応援いたします。頑張ってください。（長崎県、女性）

▶空気神社、はじめて知りました。ブナの森が豊かで歩くと気持ちがいいのですね。貴町の益々の発展をお祈り申し上げます。（東京都、男性）

▶日本の原風景ともいえる朝日町の豊かな四季には本当に癒されます。その素晴らしい大自然の恵みである朝日町の特産品にはこれからも期待しています。頑張ってください。（滋賀県、男性）

▶ワインが大好きです。これからもおいしいワインを作ってください。期待しています。（埼玉県、男性）



お世話になっている 朝日町への恩返し

坂田 玲子 さん
(大阪府／杉山出身)

高校入学と同時に杉山の実家を離れ、40 年が過ぎました。私はもちろんのこと、私の子どもも杉山分校のプールで泳ぎを、白倉スキー場でスキーを覚えました。朝日町で様々な体験をさせていただきながら大人になりました。

実家では今母が一人で暮らしていますが、亡き父を自宅介護しているときから、地域の方々には冬場の除雪などで計り知れないほどお世話になっています。感謝の気持ちでいっぱいです。

気持ちばかりですが、いろいろとお世話になっている朝日町へ恩返しの意味を込めて、ふるさと納税をさせていただいています。毎月届く広報誌を拝見すると、様々な取り組みをされているようですね。朝日町がさらに住みよい町になることを願っています。



安心できる「拠り所」で あり続けて欲しい…

相楽 洋 さん
(東京都／大谷五出身)

昨年から「朝日町ふるさと納税」制度を利用しています。私は大谷で生まれ育ち、中学卒業までの 15 年間、朝日町で過ごしました。その後様々な場所に移り住んでいますが、町に両親や友人達がいるおかげで、朝日町は今も「拠り所」です。帰省の度に子どもたちの楽しい遊び場になっています。

一方、少子化、過疎化に悩むふるさとに何か貢献できることはないかとの想いをずっと抱いていました。その点、ふるさと納税という形であれば、私のような若輩者でも無理なく町に貢献することができます。おまけに私も知らなかった朝日町の特産品をいただくことができました。

これからも朝日町が安心できる「拠り所」であり続けてほしいと、心から願っています。

【表】寄付者の使途に関する要望

使途事業内容	件数
日本一りんごの里づくり事業	486 件
たくましい朝日っ子育成事業	461 件
空気澄むふるさとづくり事業	178 件
みんな温か交流・観光事業	87 件
みんな達者でここに元気事業	74 件
支えあう集落元気事業	61 件
町長におまかせ事業	572 件
	1,919 件

平成 27 年度の実績（8月末日現在）

今年寄付額を大きく伸ばしている朝日町のふるさと納税。しかしそれは今後も増え続けるとは当然限りません。その大きな理由は、用意できる返礼品の数量が限られているから。現にサクランボは用意できた 800 パックが数日でなくなりました。人気のふじりんご 5 キロも、収穫期を待たずに予定数に達する可



政策推進課
課長 渡辺 政一

町は今後、活用の取り組み自体を工夫することはもちろん、その過程や結果を様々な形で発信していく予定です。寄付者との信頼関係を築き、朝日町の応援者やファンを増やしていく活動にも力を入れていきます。

「ふるさと納税に関しては、今のところ寄付金の額だけに注目が集まがちで、自治体はいま返礼品の確保、充実に躍起になっています。しかし、

財源確保ももちろん大事ですが、これからは使途も重要です。いただいた善意をどのようにまちづくりに活かしていくのか。寄付者の大切な想いをしっかりとカタチにしていかなければなりません。朝日町は寄付金の額だけではなく、使い方でも注目される町を目指します」

寄付者に使途を尋ねる

朝日町のふるさと納税制度は申し込みの際、寄付者に使途を尋ねています。選択肢は「町長におまかせ」を含めて 7 項目あり、寄付者が自らの想いを託すことができます。

今年 8 月末日までいただいた寄付金の使途希望は左の通り。「町長におまかせ」を除くと、りんご産業の発展や子育て・教育に充てることを望む声が多いようです。

ふるさと納税は手段であり、目的ではない

◆ふるさと納税パンフレットをリニューアル！



様々な場所に配置するほか、12 月 28 日の文書発送日に町内全世帯にお配りします。なお、同級会、クラス会、還暦祝い等の場で配布にご協力いただける際は政策推進課へご連絡ください。必要部数をお届けします。（ ☎ 67-2112 ）

マイナンバー制度始動。10月以降個人番号「通知カード」が届きます

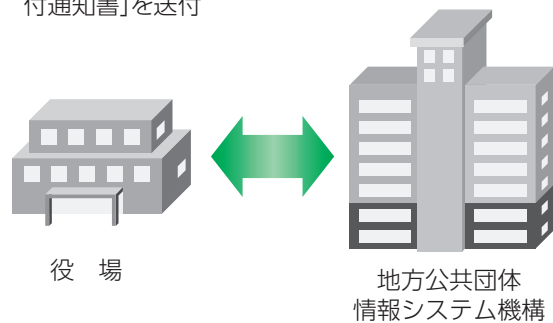
■政策推進課 地域情報係 ☎67-2112



町民

- ①「通知カード」と「個人番号カード交付申請書」を送付
- ③「個人番号カード交付通知書」を送付

- ②顔写真をはった「個人番号カード交付申請書」を送付



役場

地方公共団体
情報システム機構

個人番号（マイナンバー）制度のスタートに伴い、10月以降、個人番号の記載された「通知カード」が皆さんのお宅に届きます。今後様々な手続きで使用する「個人番号カード」を受け取るには、このカードが必要になります。お手元に届きましたら、大切に保管してください。

- ① 個人番号が記載された紙製の「通知カード」が各世帯ごとに簡易書留で届きます。中には「通知カード」のほか、「個人番号カード交付申請書」、返信用封筒が入っています。

- ② 「個人番号カード交付申請書」に必要事項を記入し、写真をはったら、返信用封筒でお送りください。この申請により「個人番号カード」を取得できます。

- ③ 来年1月以降に、ハガキで「個人番号交付通知書」が届きます。その案内に沿って顔写真付きの「個人番号カード」を役場でお受け取りください。



マイナンバー
キャラクター
マイナちゃん

世界に目を向けた人に。「日本の次世代リーダー養成塾」町長報告会

■教育文化課 生涯学習係 ☎67-2118



鈴木町長に研修成果を報告する大野翠さん

日本経団連が主催する「日本の次世代リーダー養成塾」に参加した県立山形西高1年の大野翠さん（小原）が8月17日、研修内容の報告のため町長室を訪問しました。

この塾は国内外で活躍する志高きリーダーの養成を目的としているもの。町は、昨年度に続き同塾に高校生を派遣し、人材育成事業の一環として参加費を助成しています。

7月25日から8月7日まで、福岡県宗像市で開かれた塾には、全国各地及びアジアの高校生約200人が参加。

大野さんは「世界に目を向けた広い視野を持つ同世代の仲間との交流はとても刺激になった。自分の考えをしっかりと持つ大切さを学んだ」と報告。また、「将来は発展途上国で苦しむ人々を助けたい。実現するためにも、世界で活躍する方々の話はとても勉強になった」と充実した2週間を振り返りました。

政治経済、国際交流など、各界トップクラスの著名人らによる講義で、グローバルな視点に立った考え方を学びました。

災害時の燃料供給に関する協定を締結

■総務課 防災係 ☎67-2111



協定書を取り交わす県LPガス協会西村山支部
朝日ブロックの柴田代表と鈴木町長

9月1日、町は、町内のLPガス取扱店で構成する県LPガス協会西村山支部朝日ブロック（柴田七郎兵衛代表）との間で災害時における応急対策用燃料等の供給に関する協定を結びました。

この協定は、地震や風水害などの災害が町内に発生した場合に、町の要請に応じて、同ブロック加盟店（5店舗）が避難所などで使用するLPガスと燃焼

用器具を提供する内容。町長室で行われた締結式には各店の代表者が出席し、鈴木町長と柴田代表が協定書を取り交わしました。

鈴木町長は「万が一のために備えがあるとすることは町民にとって非常に心強い」と話し、柴田代表は「LPガスは簡単に設置ができ、復旧が早いという利点がある。ぜひ役立ててもらいたい」とあいさつしました。

高齢者叙勲 元町議 渡辺治雄氏、白田太郎氏に旭日単光章

■総務課 庶務係 ☎67-2111



旭日単光章を受章した
渡辺治雄氏（左）と白田太郎氏（右）

国または公共に対し功労があり、満88歳を迎えた方に贈られる高齢者叙勲。7月1日発令で渡辺治雄さん（能中）と白田太郎さん（大谷六）が旭日単光章を受章し、8月10日、12日に鈴木町長より伝達が行われました。

渡辺さんは、昭和62年から平成11年までの3期12年の長きにわたり町議会議員を務められ、その間、議会運営委員長等を歴任しました。

一方、白田さんは、昭和50年から平成7年までの5期20年の長きにわたり町議会議員を務められ、その間、議会副議長等を歴任。両氏とも町の振興発展に寄与された功績が認められました。

両氏からは「地域の皆さんからの支えをいただいての受章となりました。これからも町の振興発展のため微力ではありますが尽力していきます」と喜びの言葉が寄せられました。

職員の人事と給与等を公開します

「朝日町人事行政の運営等に関する条例」第4条の規定に基づき、町職員の人事や給与等を公開します。



01 職員の任免および職員数に関する状況

▶部門別職員数と主な増減理由（平成27年4月1日現在）

部 門	職員数		増減	主な増減理由
	26年	27年		
一般行政	議会	2	2	0
	総務	26	29	3
	税務	8	7	△1
	農林水産	8	8	0
	商工	6	6	0
	土木	6	6	0
	民生	9	6	△3
特別行政	衛生	6	6	0
	小計	71	70	△1
公営企業	教育	25	25	0
	小計	25	25	0
	病院	45	46	1
	水道	3	3	0
合 計	その他	10	11	1
	小計	58	60	2
合 計		154	155	1

※職員数は、一般職に属する職員数で、地方公務員の身分を有する休職者、派遣職員等を含み、臨時、非常勤職員を除いています。

▶採用者、退職者数（平成27年4月1日現在）

年度	25年度	26年度	27年度
採用者	11	10	13
退職者	11	12	—

▶年齢別職員構成の状況（平成27年4月1日現在）

区分	20歳未満	20～23歳	24～27歳	28～31歳	32～35歳	36～39歳	40～43歳	44～47歳	48～51歳	52～55歳	56～59歳	計
職員数(人)	2	8	16	17	14	22	15	12	11	19	19	155

▶一般行政職の級別職員数の状況（平成27年度4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
職名	主事 主事補	主事	主任	主査 係長 副主査	室長 課長補佐	課長 出納室長 主幹	—
職員数	27人	7人	0人	28人	5人	10人	77人
構成比	35.1%	9.1%	0.0%	36.4%	6.4%	13.0%	100.0%

※朝日町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

02 職員の給与等の状況

▶人件費の状況（平成26年度一般会計決算）

住民基本台帳人口 (27.3.31現在)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費比率 (B/A)
7,503人	53億5,139万円	3億7,954万円	8億5,166万円	16.0%

※人件費には、特別職などに支給される給与・報酬等を含みます。
※25年度の人件費率は16.8%。

▶給与費の状況（平成27年度一般会計予算）

職員数 (A)	給与費				一人あたり給与費 (B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	合 計(B)	
106人	3億7,106万円	6,144万円	1億2,756万円	5億6,006万円	528万円

※職員手当には退職手当を含みません。※給与費は一般会計当初予算の額です。

02 職員の給与等の状況（右ページつづき）

▶期末・勤勉手当の状況（平成27年度4月1日現在）

	朝日町	国	比較
期末手当	(月分) 2.60	(月分) 2.60	(月分) 0.00
勤勉手当	1.40	1.50	△0.10

※職制上の段階、職務の等級による5%～15%の加算があります。
※国の状況については、特例減額措置前になります。

▶平均年齢、給料月額及び給与月額（平成27年4月1日現在）

職種	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	39歳5カ月	299,100円	319,200円
技能労務職	53歳0カ月	344,000円	366,300円

※給与は給料及び諸手当を含んだ額です。

▶退職手当の状況（平成27年度4月1日現在）

区 分		朝日町	
		自己都合	推奨・定年
支給率	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
	勤続35年	41.325月分	49.59月分
	最高限度額	49.59月分	49.59月分
その他の加算措置		定年前早期退職特例措置(2%～45%加算)	
1人当たり平均支給額		1,921万円	

※平均支給額は、平成26年度中に退職した職員に支給された平均額です。

▶時間外勤務手当（一般会計予算）

区分	支給総額	職員一人当たりの年間支給額
平成25年度	2,237万円	235,463円
平成26年度	2,336万円	245,895円

▶その他の手当（平成27年4月1日現在）

区分	支給総額	
扶養手当	配偶者…13,000円/月、一般の扶養親族6,500円（配偶者がいない場合のうち一人のみ11,000円）。扶養親族たる子のうち満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子につき5,000円加算	
住居手当	借家の場合支給。限度額 27,000円	
通勤手当	交通機関利用…限度額 55,000円 交通用具使用…限度額 20,900円	

▶職員の学歴別初任給（平成27年4月1日現在）

区 分	朝 日 町	国
一般行政職	大 卒	178,400円 (上級の場合)
	高 卒	145,500円
技能労務職	高 卒	135,300円

03 特別職の報酬等の状況（平成27年4月1日現在）

	区分	月額報酬	期末手当
給料	町長	820,000円(735,000円)	6月期 1.475月分 12月期 1.625月分 計 3.100月分
	副町長	635,000円(600,000円)	
	教育長	585,000円(550,000円)	
報酬	議長	310,000円	
	副議長	250,000円	
	議員	235,000円	

※給料月額については、平成15年4月1日より（ ）内の額を支給しています。
※期末手当については、給料（報酬）月額に40%の加算があります。

04 職員の勤務時間、休暇等の状況

▶勤務時間の概要（平成27年4月1日現在）

区分	内 容
始業時刻	午前8時30分
終業時刻	午後5時15分
休憩時間	正午～午後1時

▶休暇制度の概要・種類等（平成27年4月1日現在）

区分	要件及び日数	
年次有給休暇	年20日（20日を上限に残り日数を翌年に繰越可）	
病気休暇	90日（病気内容により最長1年）	
主な特別休暇	女性職員の出産	産前8週（多胎妊娠の場合にあっては14週）、産後8週
	職員の結婚	連続する5日以内
	忌引	配偶者10日、父母7日、子5日
	夏季休暇	3日以内(7月1日～9月30日までの期間)

05 職員のサービスの状況（平成26年度）

▶職務専念義務の免除

職員には、地方公務員法の規定に基づき、職務に専念する義務が課せられていますが、条例により研修を受ける場合、厚生に関する計画の実施に参画する場合、消防団員として消防活動に従事する場合等は、職務に専念する義務が免除されます。

▶営利企業など従事の許可

地方公務員法により、営利企業の役員等の就任又は、報酬を得て事業に従事してはならないことになっています。従事する場合には、任命権者の許可を要することになっています。

▶育児休暇

子供が3歳に達するまでの期間、任命権者の承認を得て、子供を養育するため休業することができます。育児休業期間については、給与は支給されません。（※平成26年度取得者…4人）

06 職員の福祉および利益の保護の状況

▶福利厚生制度

共済制度として、山形県市町村職員共済組合では、職員とその家族の病気、ケガ、出産などに対して必要な給付を行っているほか、退職者等に対して年金等の給付を行っています。また、山形県市町村職員互助会では、慶弔的な給付事業や保健事業を補完する事業を行っています。

▶公務災害補償の状況

公務災害などの認定状況（平成26年度）

公務災害	通勤災害	計
0件	0件	0件

07 分限及び懲戒処分状況（平成26年度）

▶分限処分

免職	休職	降任	降給	計
0人	2人	0人	0人	2人

▶懲戒処分

免職	停職	減給	戒告	計
0人	0人	0人	0人	0人

08 職員の研修の状況（平成26年度）

主催	内容	回数	延べ受講者数
市町村職員研修協議会等	新採、課長級職員研修等	38回	67人

大谷 風神祭

大谷地区伝統の風神祭が8月31日、今年もにぎやかに開催されました。

250年以上前から受け継がれているこのまつり。立春から数えて210日目にあたる9月1日頃になると、毎年のように台風被害を受けていたことから、風水害を鎮め、豊作を祈願したことがまつりの由来とされています。

今年も県の無形民俗文化財「角田流大谷獅子踊」が披露されたほか、子どもたちの田楽提灯や趣向を凝らした屋台行列が夜の村を練り歩きました。





9/5 子どもを守る、親の責任を学ぶ 知って安心 子どもの救急法セミナー

発熱、咳、嘔吐、下痢、けいれんなど、子どもによく見られる急な症状とその対処法について学ぶセミナーが9月5日、開発センターで行われました。

乳幼児の保護者17人が参加。県立河北病院小児科の三浦章医師が、病気やケガの対処法について講演したあと、消防署朝日分署の救急救命士を講師に、AEDを使った心肺蘇生術、誤飲（窒息）時の対処法などを学びました。

参加者の一人は「症状別の具体的な対処法を教わり、とてもためになった。講習を受け、心にゆとりができた」と感想を述べていました。



8/5 町の交流人口を増やそう 観光協会主催「集客力アップ講座」

8月5日、町観光協会主催による「やまがたへの旅 集客力アップ講座」が創遊館を会場に開かれ、町内外の情報発信に関心のある方々15人が参加しました。

同協会のホームページを手掛ける(株)ステップアップコミュニケーションズの櫻井健太郎氏が講師。櫻井氏は「リピーターを増やすことが重要。リピーターが増えることで新規のお客さま呼び込める」と伝え、主にインターネット上で多くの人から見てもらえる工夫や、メディア等への掲載回数を多くする方法を紹介。参加者は熱心にメモを取り、自分のお店での実践を誓っていました。



阿部 桜 さん



安藤 颯 さん

9/8 学校生活や部活動、家庭生活での思いを主張 第54回寒河江西村山地区少年の主張大会

寒河江西村山地区防犯協会連合会が主催する少年の主張大会が9月8日、朝日中学校を会場に行われました。

地区内の各中学校から選ばれた15人が、学校生活や部活動、そして家庭生活などを通して感じたことを発表。抑揚の効いた語り口で主張が展開されると、会場で一つ一つの言葉に聞き入っていました。

朝日中からは阿部桜さん（緑町）と安藤颯さん（新宿）が出場し、「形にすることで伝わる思い」「英語を通して」のテーマで発表。安藤さんが優良賞、阿部さんが努力賞を受賞しました。



8/21 良質なブドウの収穫に感謝！ ワイン仕込み作業「安全祈願祭」

8月21日、(有)朝日町ワインで良質なブドウの収穫とワイン仕込み作業の安全を願う祈願祭が行われました。

ブドウ生産者や販売業者など、関係者約40人が出席。神事が行われたあと、代表取締役の鈴木町長が果実と茎とを分ける仕込み機械のスイッチを入れ、出席者が新鮮なデラウエアを次々にベルトコンベアーに載せていきました。

「今年は梅雨に雨が少なく、夏場に高温の日々が続いた。8月中旬以降は昼夜の寒暖差が大きくなり良質なブドウに育っている」と白田重明取締役総務部長。11月頃までの作業で、白系120トン、赤系170トンの290トンが仕込まれる予定です。



9/9 9月9日は「救急の日」 桃色ウサヒの1日救急隊長

救急の日の9月9日、町PRキャラクターの桃色ウサヒが西村山広域行政事務組合の消防署朝日分署で一日救急隊長を務めました。

昭和57年に旧厚生省によって救急の日が定められて以来、この日には毎年全国各地で救急医療や救急業務について理解を深める活動が行われています。朝日分署におけるウサヒ隊長の活動は、今年で3回目。今年は分署前で委嘱状の交付を受けたあと、あさひ保育園や西五百川小学校に足を運び、各種啓発活動に努めました。小学校では、「心肺蘇生法」の講習が行われ、児童らは真剣に学んでいました。



8/23 さまざまな種目で熱戦を展開 西部地区スポーツフェスティバル

22回目を数える西部地区のスポーツフェスティバルが8月23日、西部公民館に隣接する運動施設で行われました。

西部地区に暮らす598人が出場。グラウンドゴルフ、ソフトボール、インディアカ、ビーチバレーボール、輪投げの5種目で熱戦を繰り広げ、親睦と交流を深めました。

今年は西五百川小学校の全児童による群読が初めて企画され、開会式後に「くぬぎ」「じかん」を発表。地域の宝である子どもたちの堂々とした発表に、会場から大きな拍手が送られていました。



5月号のこのコーナーで、「五感で経験し、地域の魅力を発信する」とお伝えしてから、様々な作業やイベントに従事してきました。作業としては、主にりんごやスモモ、桃などの摘果作業や収穫、草刈り、浮島での観光案内などをしました。中でも特に大変だと感じるのが草刈り。6月頃から雨が降るたびに雑草が伸び、草と格闘する日が続きました。慣れない作業に腰が痛みます。

7月の地区レクリエーション大会、そのほかピアガーデンや浮島島まつり等地区の行事もすべてに参加し、皆さんと交流させていただきました。8月には西村山地区の消防操法審査会も経験しました。



桃色ウサヒの「中の人」こと、佐藤恒平町情報交流アドバイザーと町域おこし協力隊、緑のふるさと協力隊員による連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

「五感で感じた経験を発信」

朝日町協力隊(緑のふるさと協力隊員) 中村 悠 (東京都出身)



島まつりには、白装束で参加し、新しい島の「越後之島」を沼の中央まで船で引っ張る役割を体験させていただきました。多くの報道陣やお客さまが見守る中でとても緊張しましたが、無事に成功し、ホッとしました。消防団の操法審査会では優良賞をいただくことができましたが、その喜び以上に貴重な経験だったと感じたのが日々の訓練です。地区の人たちの安全・安心を守る消防団の苦労と努力を知り、頭の下がる思いでした。

これからも五感をフルに使い、地域の手伝いや活動に参加していきます。新たに発見したり感じたりした朝日町の魅力を様々な形で発信していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。



全国 制覇

全国高校定時制通信制総合体育大会
卓球女子シングルス

優勝 阿部 愛美さん(常盤)

8月4日から6日に行われた全国高校定時制通信制総合体育大会の卓球女子シングルスで、阿部愛美選手(常盤)が見事県勢初となる優勝を果たしました。

8月26日に町長室を訪れ、鈴木町長に結果を報告。念願だった日本一の座をつかみ、「最後の挑戦で優勝できて本当にうれしい」と喜びを語りました。

阿部選手は霞城学園高校通信制の4年生で、同大会には1年時から出場。2013年に団体優勝を成し遂げています

が、シングルスでは13、14年ともに3位とあと一步のところで悔しい思いをしてきました。

昨年のリベンジと強い意気込みで迎えた今大会。「初戦はそんなに緊張しなかったが、2回戦、3回戦とチームメイトが負ける姿を見てとても不安になり泣いてしまった」と同大会の緊張感を語り、「お世話になった先生に絶対優勝すると約束していた。また、負けた仲間の分の気持ちも背負って戦うことができた」と気持ちの切り替えの大切さを訴えました。



「卓球が好きなので、クラブをつくり、指導者になりたい」と将来の夢を語る阿部選手。次の目標に向かって新たな一歩を踏み出しました。

東北 制覇

東北中学校総合体育大会

剣道女子個人 優勝 岩澤 芽衣
剣道女子団体 第3位 朝日中剣道部

8月4日から6日にかけて、福島県会津若松市で行われた第39回東北中学校剣道大会の女子個人戦で、朝日中の岩澤芽衣選手(本町)が見事優勝しました。朝日中女子は団体戦でも3位に入賞し、その名を広く轟かせました。

「県大会の団体戦で優勝できなかった

悔しさをバネにして臨みました。優勝できてうれしいです」と個人戦を振り返る岩澤選手。団体戦に関しても「3位という結果は悔しいものの、仲間との最後に大会を楽しむことができ、充実した大会でした」とすがすがしい表情で答えてくれました。



《出場選手》 先鋒…長岡 佑希(太郎一)、次鋒…齋藤とも(前田沢)、中堅…川村優貴乃(大谷五)、副将…松田ちほみ(舟渡)、大将…岩澤芽衣(本町)、補欠…佐藤百恵(新宿)、小野舞夢(大谷五)、主務…齋藤瑞穂(大滝)

山形 制覇

南陽市長杯争奪柔道大会

優勝 朝日町チーム

8月2日、南陽市武道場で行われた第58回南陽市長杯争奪柔道大会で、朝日町チーム(和田一則監督)が優勝しました。

県内各市町村ごとにチームを編成し出場する歴史ある大会。構成は小学生2人、女子1人、成年男子2人で、特に成年の部には、全国で活躍する選手も出場するレベルの高い大会です。

力のある選手がそろった今大会では、一番小柄なチームながら予選から全勝で優勝し、表彰式では「総合力で非常に優れたチーム。来年は打倒朝日町チームを目指して精進してほしい」と賛辞を受けるほど。応援のため訪れたスポーツ少年団の団員たちは、大会での選手の活躍に瞳を輝かせ、一層の稽古を誓いました。



《出場選手》 先鋒…阿部 奨悟(大谷五)、次鋒…若月真都偉(西船渡)、中堅…朽木海晴(西町)、副将…海野勇也(ハツ沼)、大将…高橋 拓也(常盤)、補欠…阿部 康敏(四ノ沢)、堀俊介(中沢)、佐藤綾子(宿)

町立図書館新刊案内

「猫に知られるなかれ」

深町 秋生 著



敗戦後の占領下、日本の再独立と復興のため、極秘裏に設立された組織があった。吉田茂の右腕・緒方竹虎による秘密機関と異能の男たちは、通称「D-1」と呼ばれ、「ランセイ」連載を書籍化。著者は南陽市出身、山辺町在住。

「青い目の人形物語」

平和への願いアメリカ編 上
シャーリー・パレント
河野 万寿子 訳作



1920年代、アメリカと日本の子どもたちのあいだで「友情の人形」が交換されました。歴史上の事実をもとに、日本人へ人形を送った当時の子どもたちのことをいきいきとえがいた創作物語。

【その他の新刊】

▼金魚姫／荻原浩 ▼砂の街路図／佐々木譲 ▼スカラムーシュ・ムーソ／海堂尊 ▼痴者の食卓／西村賢太 ▼トンネルの森1945 ▼角野栄子 ▼道徳の時間／呉勝浩 ▼東京零年／赤川次郎 ▼スワップ・アンド・ビルド(第153回芥川賞受賞作)／羽田圭介 ▼夏の裁断／島本理生 ▼姫神／安部龍太郎 ▼為吉／宇江良理 ▼武士道ジエネレーション／菅田哲也 ▼花燃ゆ3／大島里美 ▼ケイレイになり続ける人ブサイクが止まらない人／豊川月乃 ▼数医ふらこ堂／朝井まかて ▼鬼神の如く／葉室麟 ▼ト伝頼々／風野真知雄 ▼情熱のシラ 上中下／マリア・ドゥエニャス ▼出羽の民話／沢渡吉彦 ▼神さまのいる書店／三萩せんや ▼永い言い訳／西川美和



【ブックテーマコーナー】
「敬老の日 読書のすすめ 心ゆたかに生涯読書を楽しもう」

第16回

佐藤恒平×村尾隆介 トークショー

@ あさひまちブランド大学 (VOL.1 / 3)



いつもは「朝日町のブランド化」に関するメッセージをお届けしている、このページ。

今日は少し角度を変えて書きたいと思います。ウサヒとプロデューサーの地方創生に関するトークショー！去る7月7日に創遊館で行われたものを短く編集し、ここに文字化します。全3回、どうぞお楽しみください。

トークショーの質問

「町おこしや地方創生のゴールって何ですか？」

◆佐藤恒平 (以下 コウヘイ) :
地域振興って、「町おこし」と「町づくり」の二つでできていると考えています。町おこしのほうは「町を豊かに楽しく幸せにするアクション」、つまり行動のことです。町づくりというのは、そのアクションが起こる「土台」のことだと思っています。

◇村尾隆介 (以下 ムラオ) :
それは分かりやすく、また素敵な発想ですね！

◆コウヘイ :
僕が行っていたウサヒ活動では、町の皆さんのアイデアがウサヒを通して形になっていくことで、地域おこしに携わるハードルが少しでも下がる環境になればいいなと思っていました。つまりは「地域づくり」のお仕事ですね。

◇ムラオ :
「日本一カッコいい田舎町をつくろう」と掲げ、朝日町はブランド化を推進しています。それは数値化しにくいことなのですが、長野県の小布施や、北海道のニセコのように、盛り上がっている市町村の名前のひとつに、朝日町が常に挙がるようにしたいなと思います。

◆コウヘイ :
村尾さんが常にいる「社会モテ」という考え方も加わるといいですね？

◇ムラオ :
そうですね。社会からモテていること！社会から愛されていること！「朝日町っていいよね」って、世の中からもっともっとと言われることを目指したいですね。



女性の元気は、家族や地域の元気！

1人で悩まず「女性の健康相談」をご利用ください！

今月の担当…太田 律 健康推進係長



「出産後、何だか気分が落ち込んで」「母乳で育てたいのになくて…」と妊娠、出産、育児を通して様々な不安や困難を抱えているお母さんも多いのではないのでしょうか？

そんな私も産後1週間は正直泣きたくなることもありました。(笑) 今、必死に子育てと向き合っているお母さん、子育ては楽しいですか？悩みはないですか？

町では、様々な悩みを抱えるお母さんを応援するため、今年度より「女性の健康相談」を実施しています。相談では、助産師が中心となり子育てのほか様々な相談を受けています。連絡をいただければ、助産師と個別相談することもでき、母乳トラブルの心配がある方には、マッサージの方法について教え、子どもが小さく、外出が難しい方には、助産師と保健師が訪問して支援します。

また、不妊の悩みや、中年女性に起こる更年期障害の対応などについての相談もできます。



▼問合せ先
健康福祉課 健康推進係
☎ 67・2116

相談日 (毎回金曜日)	
9月4日	1月8日
10月2日	2月5日
11月6日	3月4日
12月4日	
時 間	
午前10時～12時	
場 所	
子育て支援センターあさひ	

地域も元気がいいですね。町は、女性の健康づくりを応援します！お気軽にご利用ください。

事前予約制ですので、2日前までお申し込みください。また、自宅に伺うこともできます。日程等は左記のとおりです。



奥村隆一朝日町観光振興推進員の

これからの観光おこし

Boost Up Tourism !!

第5回 山形のアイコンで体験&学び

暑かった夏も過ぎ、いよいよ実りの秋を迎えます。日本棚田百選・榎平の棚田ももうすぐ刈り入れが始まります。

扇形の大地が空に大きく開け黄金色に輝く様子は、写真愛好家の格好の被写体であると同時に、子どもたちに特別な環境で農業を経験させたいと考えている都市部の学校の先生方にはとても魅力的に映るようです。私が前職時代に手掛けた山形県の教育旅行の総合パンフレットの表紙



(=写真)に、榎平の棚田の写真を使用したのもそのためです。

お隣宮城県をはじめ、関東一円、さらに関西圏に至るまで、東北での農業体験

が人気になってきているので、そう遠くないうちに保全隊と共に県外の学生たちが榎平の棚田で汗を流し作業している姿を目にする日が来るかもしれません。そして先生方はきっとこう喜ぶでしょう「トイレと駐車場が近くて良かった」と。

榎平の棚田 体験学習プログラム

◆田植え作業
棚田の一部で手植えを行う。(指導係員、昼食つき)
期間：5月20日～30日頃

◆刈入れ作業
杭を打つ作業か稲を杭に掛ける作業。(指導係員、昼食つき)
実施期間：9月第1週～10月第1週まで

≪田植え・刈入れ作業共通≫
・所要時間：3時間
・駐車場：お休み処駐車場
・トイレ：能中公民館(またはお休み処)
・受入人数：約40人

◆申込み・問合せ先
町観光協会 ☎ 67-2134

戸籍のまど

Asahi town

8月1日～8月31日届出

Births

すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
助ノ巻	海野向晴	男	幹雄・真奈美
元町	鈴木穂	女	淳・友見

Marriages

おしあわせに

今野 健司 (東根市)	鈴木 真由美 (大谷三)
佐藤 正泰 (大船木)	阿部 あかね (山形市)

Obituaries

やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
本町	長岡 貞夫	本人
松程	鈴木 まさ	辰治
栗木沢	遠藤 喜右衛門	喜右衛門
下芦沢	大滝 光一	拓美
下芦沢	大滝 伸之	信子
宇津野	渡邊 健太郎	本人

掲載を希望しない場合は
届け出の際にお申し付けください

Population

人口と世帯数

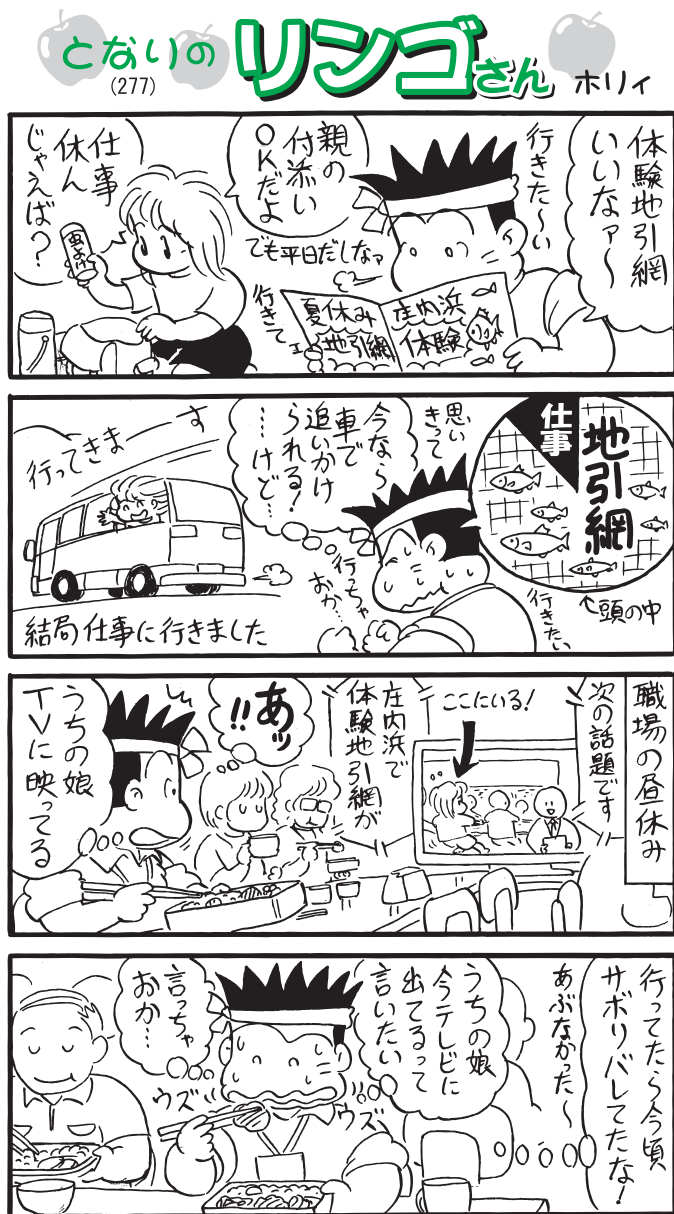
●平成27年 8月31日 現在
※()内は先月比

人口	7,444 人 (-7)
男	3,675 人 (-7)
女	3,769 人 (±0)
世帯数	2,512 世帯 (-1)

----- 8月中の異動 -----

出生	2人	転入	7人
死亡	6人	転出	10人

(※外国人を含む)



珍百景

四つ子&三つ子のナス



8月21日、藤沢盛治さん(杉山)から町広報へ複数の実がつながった珍しいナスが届きました。「人口減少にストップをかける縁起の良いナスかな～」との直筆メッセージとともに数日間役場エントランスに展示され、来庁者の目を楽しませました。



▲今回提案された、あつぷるニュー豚と自然薯の合作料理4品 ▲8月24日、町長室で行われた試食会。町関係者のほか、道の駅あさひまち「りんごの森」スタッフが導入の可能性を探った

今回提案したのは4品。そのうち、「朝日町特産のりんごとすりおろした自然薯を使ったさつぱりソースのメンチカツを用いたハンバーガー」「味付けされたひき肉と細切りにした自然薯を挟み込んだタコス」の2品は道の駅でのメニュー化を見据え、幅広い年代に向けた商品として提案されたものです。開発に関わった班長の羽柴喜巳くんは「メニューが採用されたら、両方の町のPRになると思う。味には自信があるので、商品化に向けてさらに研究・改良を重ねていきたい」と意気込みを語りました。

県立村山産業高校(村山市)農業部の生徒が、町のブランド豚「あつぷるニュー豚(とん)」と、大石町特産の自然薯を生かした合作メニューを開発しました。8月24日、役場町長室で試食会が行われ、10月1日にオー

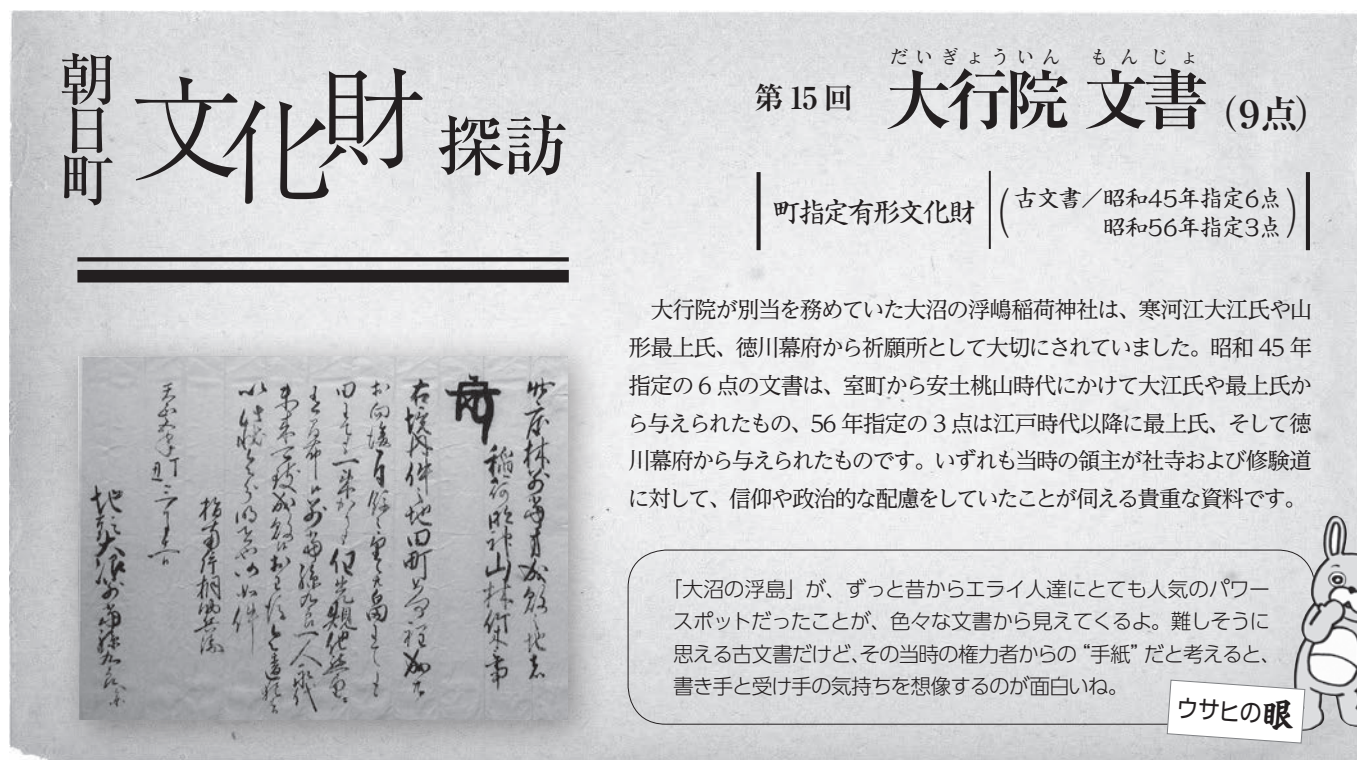
ブンする道の駅あさひまち「りんごの森」での提供を目指し、開発したメニューの特徴などをアピールしました。規格外品の自然薯を使った加工品の開発に取り組んでいる同部。当町のあつぷるニュー豚と

の出逢いは昨年の7月で、村山市で開かれた「食と農の情報交換会」で、隣りあわせで出店していたことが縁。互いの新たな可能性を求めて約1年前から合作料理の開発を進めてきました。

村山産業高生徒が合作料理を提案

あつぷるニュー豚×大石田自然薯

じねんじよ



だいぎょういんもんじょ
第15回 大行院文書 (9点)

町指定有形文化財 (古文書/昭和45年指定6点
昭和56年指定3点)

大行院が別当を務めていた大沼の浮嶋稲荷神社は、寒河江大江氏や山形最上氏、徳川幕府から祈願所として大切にされていました。昭和45年指定の6点の文書は、室町から安土桃山時代にかけて大江氏や最上氏から与えられたもの、56年指定の3点は江戸時代以降に最上氏、そして徳川幕府から与えられたものです。いずれも当時の領主が社寺および修験道に対して、信仰や政治的な配慮をしていたことが伺える貴重な資料です。

「大沼の浮島」が、ずっと昔からエライ人達にとっても人気のパワースポットだったことが、色々な文書から見えてくるよ。難しそうに思える古文書だけど、その当時の権力者からの“手紙”だと考えると、書き手と受け手の気持ちを想像するのが面白いね。

ウサビの眼



西部公民館を出発し、自然観まで駆け上がる10キロのコースに140人が挑みます。沿道の皆さまの応援、よろしくお願いします。

※大会に伴い、地図の通り交通規制が行われます。ご協力をお願いします。

◆問合せ先 政策推進課 地域情報係 ☎67-2112

私も走ります！

「本番に向け、トレーニングを重ねているところです。大会では参加選手のみなさんと楽しみながら走り、町の新たな特産品『あっぷるニュー豚』をともに味わいます。沿道の皆さまには、全国から訪れる参加者にぜひ温かいご声援をお願いします。町民みんなで大会を盛り上げましょう」



朝日町長 鈴木 浩幸

春夏秋冬 編集後記

ふるさと納税の特集を担当しました。財源を潤し、地域活性化にもつながる本制度。朝日町も今後ますます力を入れます。

昨年度、全国の自治体で最も寄付金が集まったのは、長崎県平戸市。その額は14億円以上に上ります。驚くのはそのパンフレットで、まるでカタログギフトのような美しさ。ページをめくるだけで楽しくなります。返礼品もポイント制をいち早く導入するなど人気の理由も納得です。

特集では町への寄付を依頼していますが、町民の皆さんが町外の自治体へ寄付すると、町の税収は減ることになります。制度を積極的に紹介すべきか、ほどほどにすべきか…。複雑な心境でした。佐久間 淳

大谷風神祭を取材しました。十数年ぶりに訪れましたが、雰囲気は変わらずとても懐かしかったです。

昔は私たちが待ちに待って楽しんでたお祭り。今は私たちの子どもが楽しんでる姿を見ると、いつの時代でもお祭りは地域にとって必要なものだと感じました。

伝統文化を守ると同時に、地区のお祭りや行事を守っていくことも大切です。地域の伝統を引き継いでいくのはその地域に住んでいる人と人とのつながりによって築かれるもの。私も人とのつながりを大切に、地域、そして町の伝統をこれからも伝えていきたいと思っています。

白田 淳